

施策名：変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

事業名	担当課・室名	ページ
女性の地域活動活性化支援事業	社会教育課	1 / 3
外国人とのコミュニケーション拡大事業	社会教育課	1 / 3
おおいた学びのステップアップ支援事業	社会教育課	1 / 3
生涯を通じた障がい者の学び支援事業	社会教育課	2 / 3
学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	社会教育課	2 / 3
「森の子学校」体験活動推進事業	社会教育課	2 / 3
森林環境学習促進事業	社会教育課	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
1	女性の地域活動活性化支援事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 多様化する地域課題を住民主体で解決する仕組みをつくるため、地域づくりの実践に関する研修会の開催や女性リーダーの育成など、女性団体の活動の充実に向けた取組を支援する。	①地域活動活性化モデル事業 ・中津地区地域婦人団体連合会による「公民館と連携した高齢者支援や子どもの体験活動」の取組支援 ・日出町豊岡地区婦人会による「大学生との協働による行う地域の伝承活動や子どもの体験活動」の取組支援 ・取組を周知するためのリーフレットの作成、配布(2,500部) ②地域活動活性化研修会 講演会及び3分科会を実施 (参集165人・動画視聴等133人) ③地域活動活性化実践交流会 モデル2地域実践発表及び講演会を実施 (参集290人)	①	1,516	③	742	地域活動に取り組んだ活動事例数 [団体]	目標値	6	10	A
			②	1,056	④			実績値	6	10	
			主な活動指標と達成率		達成率	100.0%		100.0%			
			研修会等に参加した人数	目標値	540	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 女性団体を主体とする10件の地域課題解決に向けたコミュニティカフェの運営や子どもの体験活動の企画等に対し、公民館や大学生など他団体との連携を促すとともに、地域活動を専門とする大学教授をアドバイザーとして活用することで活動の活性化を促した。 女性リーダーが活躍する多様な地域活動を推進するため、令和5年度から「女性の地域活動実践力向上支援事業」を実施する。	実績値	588			
			[人]	達成率	108.9%						
	目標値										
	実績値										
	達成率										
	予算額 (うち翌年度繰越額) 3,314 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,314 (0)										

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
2	外国人とのコミュニケーション拡大事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 多文化共生社会を実現するため、外国人に対して「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」に関する学習会や講座をモデル地区（別府市・中津市）を中心に開催する。	①学習機会の提供 ・地域住民向け学習会（宇佐市・大分市：39人） ・外国人との交流会（宇佐市・大分市：33人） ・高校福祉科での講演会と交流会（156人） ・公民館講座（別府市・玖珠町：91人） ②モデル地域における学習成果の活用 ・地域住民と外国人による交流イベントの企画会議（別府市・中津市：延べ100人） ・「やさしい日本語」を活用した外国人との交流（別府市・中津市：185人） ③「やさしい日本語」の県内への普及 ・講演会の開催（日田市・佐伯市：150人）	①	767	③	143	学習会参加者の意識変容率 [%]	目標値	70.0	80.0	A
			②	240	④			実績値	85.1	95.3	
			主な活動指標と達成率		達成率	121.6%		119.1%			
			学習会の平均参加率	目標値	70.0	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「やさしい日本語」の普及や学習機会の提供、公民館等での活動事例の提示を通じて、多文化共生社会の実現に向けた、地域住民の意識向上を図ることができた。 在留外国人やインパウンドの増加が見込まれる中、観光や医療・福祉分野等多様な主体との協働やICT活用などに取り組むため、令和5年度から「「やさしい日本語」活用促進事業」を実施する。	実績値	104.7			
			[%]	達成率	149.6%						
	目標値										
	実績値										
	達成率										
	予算額 (うち翌年度繰越額) 1,299 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 1,150 (0)										

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
3	おおいた学びのステップアップ支援事業 (R3 ~ R4) 社会教育課 高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置するとともに、関係機関による連携体制を構築する。	①学びのステップアップアドバイザーの配置 退職教員等の地域人材による、高等学校中退者等の学び直しや高卒認定試験合格に向けた学習相談・支援の実施 ・利用者の延べ人数…学習相談38人、学習支援134人 ・高卒認定…受験者11人、合格者7人 ②学びのステップアップ協議会の開催（3回） ・県教委、知事部局、ハローワーク等が連携し、高卒認定試験を必要とする方の現状等の情報共有や支援方法の検討を実施 ・高校中退者等に対し、高卒認定試験合格を目指した学習支援及び進路相談を実施することについて周知を図るチラシを作成・配布 (コンビニ、高校等に20,000部配布)	①	2,629	③		学習相談・進路相談の登録者数 [人]	目標値	50	75	A
			②	300	④			実績値	27	77	
			主な活動指標と達成率		達成率	54.0%		102.7%			
			学習相談（支援を含む）の実施回数	目標値	90	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コンビニ等へのチラシの配布、広報番組等の活用に加え、子ども・若者支援地域協議会、社会福祉協議会、児童養護施設等を通じた対象者に直接情報が届きうる周知活動に努めたことにより、学習相談・進路相談の利用者を拡大できた。 これらの取組により、当初の事業目的を概ね達成したことから当該事業は終了し、今後は、不登校親の会、フリースクール協議会等との連携・協力、大分市以外の利用者に対する周知と学習会場の設置を進める。	実績値	172			
			[回]	達成率	191.1%						
	目標値										
	実績値										
	達成率										
	予算額 (うち翌年度繰越額) 2,953 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,929 (929)										

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
4	生涯を通じた障がい者の学び支援事業 (R4 ~ R6) 社会教育課 障がい者の生涯にわたる学びを支援するため、関係機関の連携体制を構築するとともに、地域における生涯学習の実践研究等を行う。	①普及啓発 ・行政職員・公民館関係職員を対象とした研修の実施 ・九州・沖縄ブロックコンファレンスの開催 ・専用Webサイト「かたろうえ大分」の開設 ・リーフレット作成 ②実践研究 ・大分大学生涯学習講座（6回） ・社会教育関係施設（青少年の家・モデル公民館）での体験活動や教養講座（8回） ・特別支援学校出前講座（3回） ③調査研究 ・障がい者や保護者、支援者、社会教育関連施設（公民館等）のニーズ及び実態の調査・把握 ・先進地視察（2回） ④推進協議会（コンソーシアム）の実施 関係機関のネットワーク化を図り、情報や課題を共有して取組を協議	① 3,209 ③ 1,076	連携する支援団体・機関数 [団体]	目標値		25	35	A
			② 1,180 ④ 221		実績値		34	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 8,127 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 5,686 (5,686)	主な活動指標と達成率 障がい者の学びに関する情報件数 [件]	目標値 50 実績値 67 達成率 134.0%	達成率 136.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 教育・福祉機関の連携体制を構築し、学校卒業後の生涯学習ニーズと実態に関する全県調査や大分大学・社会教育関係施設での障がい者対象講座を実施したほか、障がい者の生涯学習に関するイベント、団体情報の一元化と事業の普及に向けた専用Webサイト開設、リーフレット作成、特別支援学校出前講座を実施した。 令和5年度はモデル公民館を3館に増やすとともに、ボランティア・支援者育成研修や動画教材開発等を進め、持続可能なあり方を検証する。				
			目標値 実績値 達成率						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
5	学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 子どもや学校を取り巻く課題の複雑化・困難化に社会全体で対応するため、「協育」ネットワークとコミュニティ・スクールとの連携を図り、地域学校協働活動を推進する。	①「協育」ネットワークの拡充 ・小学生チャレンジ教室（16市町村146教室） ・未来創生塾（14市町村147教室） ・企業・高校等を活用した地域プログラム開発事業 ②地域学校協働活動の推進 ・学校における地域学校協働活動（13市町村206校区） ・統括的な地域学校協働活動推進員モデル事業（5市、16校区） ・地域とともにある学校づくり推進ワーキンググループ ・地域学校協働活動推進員フォローアップ研修 ③家庭教育支援活動の強化 家庭教育支援部会の構築（12市町村187校区）	① 38,758 ③ 2,420	「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数 [人]	目標値	108,500	109,000		C
			② 8,282 ④		実績値	84,872	94,603		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 66,960 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 49,460 (24,576)	主な活動指標と達成率 地域学校協働活動の実施件数 [件]	目標値 17,500 実績値 19,458 達成率 111.2%	達成率 78.2%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 モデル地域の取組を研修や協議会等での実践発表、事例集等を通じて県内全域に発信することで地域学校協働活動の実施件数、活動に参加した地域住民の数は大きく増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響で学校での教育活動や放課後活動等が制約を受けたため、目標を達成できなかった。 地域学校協働活動推進員のコミュニティ・スクールへの参画推進や地域学校協働活動を拡充するため令和5年度から「学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業」を実施する。				
			目標値 実績値 達成率						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
6	「森の子学校」体験活動推進事業 (R4 ~ R6) 社会教育課 次世代を担う子どもたちへの森林・林業教育を推進するため、青少年の家で学校教育と連動した森林・林業教育プログラムを実施する。	①モデル校による森林・林業教育プログラムの実践 モデル校10校を選定し、香々地・九重青少年の家で森林・林業教育プログラムを実践するための集団宿泊研修を実施 ②森林・林業教育プログラムの体系化 ・体験プログラムを検討するための委員会の開催 ・安全なフィールドを整備するための間伐や遊歩道修繕等の実施	① 2,928 ③	森林・林業への興味・関心、理解度 [%]	目標値		75.0	80.0	A
			② 2,201 ④		実績値		86.0	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 5,129 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 5,129 (0)	主な活動指標と達成率 森林・林業教育プログラムの提供数 [件]	目標値 5 実績値 8 達成率 160.0%	達成率 114.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 小学校9校と中学校1校をモデル校に選定して森林・林業教育プログラムを実施し、事後アンケート調査から森と人々の生活や林業と自然環境との関わりへの理解の向上が確認された。 令和5年度は、当該事業の広報を強化するとともに、モデル校を15校に拡充し、次世代を担う子どもたちへの森林・林業教育を推進する。				
			目標値 実績値 達成率						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
7	森林環境学習促進事業 (H24 ~) 社会教育課 森林環境学習を推進するため、指導者の養成と児童・生徒への学習機会の提供を行う。また、子どもたちの体力・運動能力と木への親近感を高めるため、青少年の家等での運動・遊びを通じた体験活動を実施し、幼児期から木や森の魅力を体感できる機会の拡充を図る。	①木製遊具の設置	① 5,632	③ 1,320	森林環境学習の参加人数 [人]	目標値	5,730	5,830	5,930	A
		②幼児期からの環境学習に関する学習機会の提供 ・森の子レンジャー（4回、参加者70人） ・森の楽校（3回、参加者49人） ・森林の環境学習サポート隊（6回、参加者441人）	② 1,404	④ 83		実績値	6,545	6,836	—	
	③「森で遊ぼう」自然環境での運動（遊び）推進事業 ・生き生き自然体験キャンプ（3回、参加者89人） ・大人もこどもも空中体験（3回、参加者45人）	主な活動指標と達成率 森林環境学習の実施回数		達成率		114.2%	117.3%	—		
	④森林環境学習指導者の養成及び資質向上 ・スキルアップセミナー（3回、参加者27人） ・森林環境学習指導者養成研修会（3回、参加者18人）	新規の指導者の養成数	目標値	38	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 幼児向けアスレチックの導入や「森で遊ぼう」自然環境での運動（遊び）推進事業の充実により、森林環境学習への参加者が増加した。 令和5年度も「森の子レンジャー」など青少年の家を活用した幼児及び児童生徒の体験活動を推進するとともに、森林の環境学習サポート隊を積極的に広報し、自然体験活動や環境学習活動等の参加者の増加を図る。					
		実績値	27							
		達成率	71.1%							
		目標値	5							
予算額 (うち翌年度繰越額) 9,514 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 8,439 (0)		新規の指導者の養成数	実績値	4						
			達成率	80.0%						